



本山歯科 訪問歯科ニュース

この訪問歯科ニュースは、訪問歯科診療をもっと多くの方に知っていただき健康になっていただくために、本山歯科医院が発行しています。

2017/11
No.128



今月のトピック 『摂食嚥下障害のある人の口腔ケア』

こんにちは。ケアマネージャーさんや訪問看護さんとの窓口をしております橋本です。今回は摂食嚥下障害のある人の口腔ケアについてお話しします。

摂食嚥下障害のある人がもとも起こしやすい合併症は、誤嚥性肺炎です。特に、脳血管の病気や、中枢神経系の病気（パーキンソン病など）にかかっている人は誤嚥性肺炎を起こしやすく、また口腔内の不衛生や、嘔吐、胃食道逆流などの状態が、ますます誤嚥性肺炎のリスクを高めます。

なかでも食べ物を口から摂っていない人は、だ液の分泌が減って自浄作用が低下し、口の中に細菌が繁殖しやすくなります。そして細菌で汚染されただ液を飲み込むことにより治りにくい肺炎にかかってしまうことがあります。

以上のようなことから、摂食嚥下障害のある人の口腔ケアは、リハビリ的な要素を併せ持ったものが望ましいといえます。口腔ケアをしながら感染予防だけでなく、唇、舌、鼻腔などの運動機能の強化をはかるといわけです。ケアをするにあたっては、口腔や咽頭の観察をし、合併症や年齢、栄養状態、感染状態を考慮することが大切です。

基本的に、歯は歯ブラシで磨きます。口腔が激しく乾燥している場合は保湿剤を使いますが、同時にだ液腺をマッサージなどで刺激して、だ液の分泌を促しましょう。

※以下に食後の口腔ケアについての留意点を挙げますので、参考になさってください。

- ① 口の中に食べ物が残らないよう、食後はお茶などで充分きれいにする。
- ② 歯に挟まった食べ物は頬を膨らませながら舌を使って除去させたり、お茶を含ませて口をゆすぐように指導する。（特にまひ側は残りやすいので、気をつける。）
- ③ 食事中にむせる人は、口腔ケアの前後に「エヘーン！」と咳をさせる。
- ④ 食後すぐにベッドに寝かせない。（胃食道逆流予防のため）やむを得ず寝かせるときは、最低1時間は前屈姿勢をとり、ベッドを45度リクライニングさせる。

★現在FAXにて送信しております「診療情報提供書」「訪問歯科ニュース」はメールでもお届けすることができます。メールですとデータの保管・管理が便利です。ご希望の方は以下のアドレスにお知らせ下さい。

✉ info@motoyama-shika.com

★「ご担当ケアマネージャー様に変更になる場合」や「事業所様の変更がある場合」にはご一報下さい！

★歯医者に通えないお困りの方ご相談ください！虫歯治療、義歯作製・調整、口腔ケア、嚥下訓練
診療時間：月曜～土曜 / 9:00～17:00頃まで。日曜・祝日休診

名古屋本院

診療エリア：名古屋市(南区・緑区以外)
春日井市、北名古屋市、清須市、
尾張旭市、長久手市 その他

TEL 0120-814-004

FAX 0120-25-3418

名古屋市千種区四谷通1-6-1 脇田ビル2階



大府診療所

診療エリア：大府市、東海市、豊明市、
名古屋市南区、名古屋市緑区、
東浦町、刈谷市(一部) その他

TEL/FAX 0562-85-9994

大府市中央町6-73 ファミリーユおおぶ1階